

第5回東通村総合教育会議議事録

1. 日 時 平成30年3月20日(火) 16:00~17:00
2. 会 場 東通村交流センター3階「委員会室」
3. 出席者 東通村総合教育会議構成員
東通村長 越 善 靖 夫
- | | |
|-------------------|------------|
| 東通村教育委員会 教育長 | 奥 島 涼 子 |
| 東通村教育委員会 教育長職務代理者 | 鈴 木 眞 治 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 橋 本 健 一 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 北 川 幹 雄 |
| 東通村教育委員会 教育委員 | 大 槻 淳 (欠席) |
- 東通村総合教育会議オブザーバー
- | | |
|--------|-------|
| 東通村副村長 | 林 春 美 |
|--------|-------|
- | | |
|-----------------|--------------|
| 東通村総務課 課長 | 小笠原 伸 一 (欠席) |
| 東通村いきいき健康推進課 課長 | 畑 中 能 文 |
- | | |
|-------------------------|---------|
| 東通村教育委員会事務局 参事・教育次長 | 川 村 哲 也 |
| 東通村教育委員会事務局給食センター 参事・所長 | 川 端 義 秋 |
| 東通村教育委員会事務局教育総務課 課長 | 畑 中 稔 朗 |
| 東通村教育委員会事務局教育指導課 課長 | 畑 山 元 康 |
- 東通村総合教育会議事務局
- | | |
|--------------------|---------|
| 東通村経営企画課 課長 | 菊 池 敢 世 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 | 西 谷 聖 子 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 総括主査 | 浅 野 和 志 |
| 東通村経営企画課地域戦略G 主事 | 加 藤 義 弘 |
4. 傍聴者 なし

5. 会議内容

(1) 開 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

(2) 村長挨拶 村長 越善靖夫

本日、第5回目の総合教育会議の開催をお願いしたところ、教育委員の皆様には、何かとご多用の中、ご出席を賜り、感謝申し上げます。また、平素から、村教育行政はもとより、村政の各般に亘り、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、前回の会議では、村の最重要課題である、幼小中一貫教育の推進に向け、なお一層、努力していくこと等を協議し、大変、有意義な意見交換をすることができた。これを受け、教育委員会では、東通村教育大綱の目指すべき方向に向け、着実に施策を推進しているものと存ずる。

第5回目となる今回の会議は、昨年度に引き続き、東通村の教育の現状と課題について、意見交換をさせて頂くものである。委員の皆様においては、忌憚のないご意見を賜るようお願い申し上げ、開会に当たっての挨拶とする。

(3) 議事録署名者指名 議長：村長 越善靖夫

議事に入る前に、事務要領第4条第2項における会議録の署名者に、奥島教育長と橋本教育委員を指名する。

(4) 議 事 議 長：村長 越善靖夫

○議長：村長 越善靖夫

「案件1 東通村教育の現状と課題について」事務局の説明を求める。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

説明に入る前に、まず、本年度の会議が、例年会議を開催している11月頃から3月にずれ込み、本総合教育会議の目的の一つでもある、議論して合意に至った施策の予算反映にいて、タイミング的に平成30年度当初予算に反映出来ないことをまずもってお詫び申し上げます。財政担当課でもある当課としては、補正対応で措置できるように努力して参りたい。

この時期にずれ込んだ理由であるが、「東通村教育大綱」即ち「東通村教育振興基本計画」はいずれも平成29年度をもって期間が終了となる。

昨年度の会議において、スケジュールについて御説明していたが、本年度の予定としては、10月から1月まで計3回程度の会議を開催し、新たな「東通村教育大綱」を決定する予定だった。

このような予定で、これまで教育委員会事務局とも年度初めから協議を行ってきており、教育委員会が「東通村教育振興基本計画」を決定し次第、「東通村教育大綱」への置き換えを含め

て村長と協議を行い、総合教育会議において議論することにしていました。

しかし、平成25年6月14日に閣議決定され、同じく平成29年度に期限を迎える国「教育振興基本計画」について、新たな国「教育振興基本計画」が未だ決定されておらず、また、公表もなされていない状況から、国の重要な教育方針を示す、国「教育振興基本計画」がなければ、「東通村教育振興基本計画」も策定することができず、国の状況を注視してきたことが、延びてしまった原因である。

現在においても、国「教育新興基本計画」の決定時期が明確となっておらず、来年度、国「教育振興基本計画」が決定され、それを踏まえて、「東通村教育振興基本計画」が決定され、「東通村教育大綱」への置き換え等を含めた議論をしていきたい。

このことから、本日の総合教育会議では、議事（1）東通村教育の現状と課題について、昨年度に引き続き、村長と教育委員により、東通村の教育の現状と課題について、自由に議論、即ち協議・調整をして頂き、協議・調整のなされた内容については、事務レベルで対応し、平成30年度補正予算への反映や、今後の教育行政等に反映させていきたい。

○議長：村長 越善靖夫

只今事務局より、今回の会議ではざっくりばらんに「東通村教育の現状と課題」について議論し、議論した内容は、事務レベルで早急に調整し、今後の教育行政に反映していきたいとの説明があった。

昨年度の総合教育会議でも、様々な教育の現状と課題、対策等について、議論を行ったと思うが、今回の会議でも総合教育会議の趣旨である教育条件の整備等、重点的に講ずべき施策等について議論をして参りたいが宜しいか。

○委員各位：（異議なし）

○議長：村長 越善靖夫

それではまず私から、教育委員の皆さんにざっくりばらんにお聞きしたい。

学校教育の中で、確かな学力の向上について、小学校中学校の学力の現状について、中学校卒業後の進路はどのようになっているか。

○奥島教育長

県・全国の学力調査から見ると、まだまだ大きな差がある。まず一つは学校現場について基礎・基本の定着や、これから求められる応用力について頑張ってもらっているが、子供たちの状況を見ると、基礎・基本をつけなければいけない生徒と応用力をつけなければいけない生徒で差が開いている現状。学校側もできるだけ子供たちに対応できる体制はとっている。中学三年生は全員、県立高校を一次で合格した。田名部高校合格推移について、平成25年度は23.5%に対して、今年度は27.8%と上がっている。田名部高校の他に青森東、八戸北高校の合格者もいる。学校側も受験にあたる3年生については校内学習会を開き、全学年に対しては学習会と部活とセットにした形で学習の指導をできる場面、一人ひとりに対応できる場面を多く設定するようにしている。小学校も配慮が必要な生徒に対して村費教員を活用しているが、

現在普通学級に在籍していても、支援が必要な子がどんどん増えている状況にある。これについて、小学校は平成30年度、特別支援教室をつくり、特別支援学級に入っていないなくてもその子の発達のどこに問題があるのか細かく対応していく。小中共通して落ちているのが算数・数学である。平成30年度からは、小学校も中学校もすべての学級が2名体制で指導していく。配慮が必要な子については、取り出し・個別指導の体制を組むことを考えている。その場合、村費のマンパワーは大きく、全学級が2名体制になるように組んでいる。習熟度については29年度の春から色んな形で取組んでもらっているが、「これが一番効果がある」というのはまだ見えない。東通村の子供に合った学習形態を考えていきたい。

○議 長：村長 越善靖夫

徐々に成果が現れているという話だが、東通村の英語教育では、小学校1年生から英語活動を実施しているが、中学校の英語の成績には着実に反映されているのか。

○奥島教育長

それについて、ずっと課題があった。小学校は「楽しい英語」ということでやってきていて、耳で聞くこと、話すことについてはかなり力が付いていたが、中学校の英語に入ったときに、「書く・読む」ということで意欲がどうしても下がってしまう。辞書を引くことについて、中学校に入ってからではなく、小学校のうちから使い方を教えたり、簡単な単語については読んだり書いたり触れるようにする。学習指導要領が変わり、小学校での英語を2時間やらなければならない。東通小学校では、来年度から小学校5・6年生に週2時間英語を教える体制を組んでいる。その中で、中学校の課題である「書く・読む」ことについて早めの取り組みを組んでいる。中学校の先生が小学校にきて教えたり、小学校6年生が中学生とグループに分かれて英語の勉強をしたり、繋がりを配慮している。英語は効果が出てきており、毎年少しずつ点数が伸びている。

○議 長：村長 越善靖夫

小学校5年生から英語を学習するという事は国で決まっているが、小学校1年生からやるとすると、英語の教員の数はどうか。

○奥島教育長

現在、ALT2名（小学校1名、中学校1名）と、村費教員の英語担当1名。その他、小学校低学年の学級担任から1名、高学年から1名を英語活動推進員になってもらっているが、英語の学習はすべて担任も入って、一緒に進めている。1年生のときから3人体制で英語の授業をやっている。

○議 長：村長 越善靖夫

小学校から英語を勉強し、その影響で中学校の英語力は伸びているのか。これを含め、中学校から英語を勉強するより、小学校からどんどん始めたほうがいいのか。村の方針としては小学校から進めてきたが、「先生方が少ない」という現状をどう考えるか。先ほど話した、小学

校で英語をやらない世代よりもやっている世代の方が英語力が伸びているのであれば、もっと充実した何かを考えなければいけないと思っている。その為には、決められた授業の時間数において、英語の指導者が足りないのであればどうするか、本当に指導者が足りないのか現状を教えてほしい。

○鈴木教育長職務代理者

指導者が少ないより多いほうがきめ細かな指導ができると思う。出来れば11月頃に会議があつて政策を予算に反映できれば、有り難かった。マンパワーの件でも、きめ細かな指導をするには何が必要かと根拠を提示して、後押ししてくれるような状況であれば、大変有り難い。今回は、予算が決まった後なので難しい状況だと思う。

英語だけではなく、理数系が考える力を育む為には必要になってくる。現状、先生方の多忙さが本当にあるので、時間を割いてまた自分たちの方へ余力を向けられるかというのは難しい問題。そのため、村費負担の教員をお願いしている。現場の声を聞き入れ、村の考えを推進してほしいのであれば、押し付けるだけじゃなく全面的に協力していくという姿勢や信頼関係が大事だと思う。村長の思いを100%反映はなかなか難しいと思うが、現場にお願いするのであれば、全面的に協力しますよという体制ができていれば有り難いと思う。

○議長：村長 越善靖夫

小学校の英語を本格的にやると、本当に中学校に活かせるのかある程度実証してほしい。これは今始まったばかりだから、「教員の配置が必要だ」とか「予算要求」に関してもきちんと説明をし、理解をしていくということが一番大切ではないか。ただ人が足りないから、何かをしたいからではなく、予算も考えながら、ただ増員するのではなくしっかりと考えていきたい。

また、皆さんにお聞きしますが、小学校・中学校の学力の向上をより高めるために、教育行政だけでなく、学校においてどのような取り組みをするとより効果があると思うか。

○橋本教育委員

小学校からの英語力アップについて、今年から小学校6年生の修学旅行で福島県の施設「ブリティッシュヒルズ」で1日英語を話して過ごす活動がある。イングリッシュスピーチコンテストを5年生全員がやった。小学校だけでなく、中学校の先生も呼んで2時間ほど行った。海外研修や、進学でも英語科を選択する子が増えた。中学生もこれから成績が伸びるのを期待している。

○議長：村長 越善靖夫

学校現場において、皆が頑張っているというのは確かだが、小学校中学校の子供たちの英語教育の受け入れ方はどうか。通常5科目に今までになかった「英語」がプラスされ、子供たちはどう考えているか。

○奥島教育長

英語はこども園からやっているもので、どのクラスも楽しそう。学級担任の先生にも積極的に

英語を話すことを取組んでもらっている。英語を「聞く・話す」はこども園から楽しくやっている。5年生のスピーチコンテストの話があったが、こども園から英語を習ってきた子供たちで、みんなの前で、3、4人でストーリーを作りながらお互いに英語だけでやり取りするというをしている。発音どうのではなく、とにかく楽しく話すということが東通の子供たちは出来ている。ブリティッシュヒルズでは、ホテルのスタッフの方からも「すごく積極的で小学生とは思えない」と褒められていた。スタッフの人にどんどん話しかけて、買い物する場面など、いろんな場面で物怖じしないで話しかけることが出来ている。

○議長：村長 越善靖夫

わかった。こども園から英語を習い、その子ども達が小学校1、2年生になったとき、こども園の先生方が授業参観する機会はあるか。

○奥島教育長

ある。最近では、こども園の先生が1学年の様子を見に来るとか、小学校の先生が来年来る子供の様子を見に来ることは例年増えてきている。こども園の先生が小学校を見に行く回数は結構あるが、小学校はあまり授業を空けられないので、回数は少ない。それでも今年のほうが、子供を見るだけでなく一緒に話し合う場面が増えた。平成30年の1年生の学級編成については、一緒に考えるという形で進められている。

○議長：村長 越善靖夫

小学校の先生が幼稚園を見に行く回数が少ないというのは、そういう現場の空気があるのではないか。

○奥島教育長

そこは今、小学校の校長先生が変えようとしてくれている。声掛けはしているが、「自分の学級は自分で見ないと」という意識の強い先生が多く、そこは学年での対応や、他の先生が見る形や、少しずつ工夫している。

○議長：村長 越善靖夫

先生方が、お互いに出向いて話し合いする機会を持てばよいと思う。

○奥島教育長

こども園の先生達が小学校に子どもたちを連れて行くこともある。異学年の交流についても考えていきたい。中学校はこども園に、保育実習や音楽の演奏会などで行く機会が多い。こども園は天体観測などで中学校へ行く機会がある。小学校へ行く機会は少し少ないのでこれから考えていく。

○議長：村長 越善靖夫

小学校中学校の卒業式に行って、子ども達が話もせずにな糸乱れぬ姿勢で、緊張感を持って

いて、とても感動した。こども園の時代から教えを守ってきたのが表れているのではないかと思う。後は先生方がそれに気持ちを合わせればもっと良くなっていくと思う。引き続きお願いします。

続いて、保護者の教育意識の向上について、保護者の意識を高めるためにはどうしたらよいか、また今まで実施している例などあればお聞かせください。

○北川教育委員

家庭学習について、学校の授業の中で理解していなかった子ども達がいたとして、それを家に帰って勉強しろと言われても、何をやればいいのかすらもわからない子供たちがいると思う。学校の授業はある程度押さえて、「今日帰ったら自分の課題はこれだ」というのを作ってやるとか、そうしないと、いくら親が宿題や勉強について言ってきたり、そういう環境だったとしても自分自身がこれをやるという意識が無いと、なかなか上手くいかないと思う。秋田かどこかで、学校で今日の課題を見つけて、宿題としてやっている学校もあったような。子ども達が自発的にやっていく環境にしていかないと。

○議長：村長 越善靖夫

非常に貴重な意見。学校の現場について、小中学校の校長先生や教頭先生と話す機会も少ないと思う。教育長と教育委員で伝わっていない場合もあり、教育委員会の方も村長に言いたいこともいっぱいあるだろうし、学校の現場に対しても言いたいこともあるでしょうから、そこを上手く話が出来ると良いと思う。

○奥島教育長

学校側では、家庭訪問は6月と11月にやっていて、授業参観などでも、学校がやっていることに対して意見を聞いたりもしている。今のような提案もしているが、なかなか通らない。家庭学習をどのような形で子供たちへやらせるのがいいのかは、校内研修や色々な会議の中で提案している。来年度の基礎の定着については、学校だけでなく家庭でも繰り返しやれるようにしたい。

○議長：村長 越善靖夫

一番子供が意欲を持つのは、親が話をするのがいいのか、学校の先生が話をするのがいいのか。親は学校に任せるだけでなく、子供と接する機会をもって一緒に作業したりしていくと、もっと変わるのではないかと思う。そういうことを含めて、まずは親を教育しなければならない。

○鈴木教育長職務代理者

いろんな機会を設けて、親にはお願いをしている。学校の経営方針や、勉強。自分の子供にどうなってほしいかと思えば、まずは親が覚悟を決めるべき。まず、自分から勉強して、そういう姿を子供に見せる。しかしこれを皆の親が出来るといえば、そうではない。子供の興味を知る。親が、「疲れた」「忙しい」ばかりではなく、「今日はどうだった？」など、会話を

する。夫婦、親子、兄弟の会話を大事にしなければいけない。夫婦揃って学校の行事に積極的に参加してもらうことも大事。その姿を子供が見ると、「自分のために一生懸命やってくれているんだなあ」とようやくそこで親を尊敬できるような形になって深い話が親子でできてくるのではないかと思う。まずは、親子・夫婦・兄弟できちんと挨拶が出来るように、意思疎通が出来るように変わっていくことだと思う。

○議 長：村長 越善靖夫

最後に、社会教育についてこれからどのように取組んでいくと良いのか。家庭教育も様々あると思う。子ども達が意思を持っているいろいろやろうとしても、家庭環境もあるだろうし、そこまでは入っていけない。そこを親として保護者として、ある程度の年代の社会教育と、若い世代の社会教育をどう進めていけばよいのか。

○鈴木教育長職務代理者

自分の家の歴史をまず教えること。親が知らなければ、その上の世代のおじいさんおばあさんから聞く。親も聞かせられるようにならないといけない。東通の文化・歴史・自然（ジオサイト）にも愛着を持ってくれるのではないかと思う。史料館を積極的に活用し、自分の家のルーツをしっかりと調べて、おじいさんおばあさんから聞いて、親がそれをしっかりと理解しなければならぬ。これが社会教育に繋がると思う。

○北川教育委員

統合する前は、各地域に学校があつて、学校がコミュニティの役割となっていた。今統合して、地域にそういうものがなくなってしまうと、お年寄りたちと子ども達がどこで交流するかという「子ども会」の役割がすごく大きくなると思っていたが、現状は違う。子ども会とか地域の集まりに力を入れて活性化することが良いと思う。

○議 長：村長 越善靖夫

小学生の子供をもつ若い世代の人たちと、将来の方向性を話し合いながら進めていくことが非常に大事になってくるのではないかと思う。そのためには、その世代の人たちを行政としても支えていかなければいけない。若い世代で、能舞や神楽などに入っていない人もいるなど様々な問題も有る。ある年代に達すると生活が第一になり、働くことになる。そこをどう一緒にやっていったらよいか。

○橋本教育委員

こども園、小学校、中学校で運動会などの行事があるとすごい人数が集まる。地域の総代もほとんどきている。昔から学校・保護者・地域と言われるが、地域を含めた活動が必要だと思う。地域が作ったやり方をこれから考えていかなければならないと思う。

○議長：村長 越善靖夫

父兄の方々が、学校に依存して、学校に預けておけばいいという風潮があるのではないかと。自分たちは何をしなくてもなんとかなるといふ人が多いのではないかと。

○北川教育委員

昔と今のPTAの違いがあると思う。私の地域だと、先生方の歓迎会や行事の度に参加人数を見ながら前の日にでも、協力して欲しい旨、電話を入れる。今のPTAが子供たちのためにそこまでやっているのかと言えば、どうなのかわからない。昔は地域が小さいから人を集めなくてはいけなかった。PTAも学校に任せきりなところがあるのではないかと。

○鈴木教育長職務代理者

運動会のお疲れ様会など、役職のあるPTAの方のみで、これは地元でやらなくなったのが原因だと思う。家に近ければ顔出ししてすぐ見られるけど、お年寄り足が運びにくくなっているのではないかと。学校側はいつでもオープンだが、お年寄りからすると、なかなか入りにくい。関心がないわけではないし、自分の子供の成長が一番。PTA活動となると、自分の地元だったら自分たちがやらなければいけないとなるが、そうじゃなくなると任せきりになってしまう。どこの学校に行っても同じく「会長にはなりたくないから参加しない」となる。PTA組織のあり方を考える必要があると思う。

○議長：村長 越善靖夫

いろいろとご意見を賜り有難う。

意見交換した内容は、まずは、早急に事務レベルで調整し、補正予算への反映や今後の行政に反映するようにしてください。

○議長：村長 越善靖夫

続いて、「議事(2)今後のスケジュールについて」事務局より説明願う。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

平成27年度から本教育会議を行ってきた。27年度は教育大綱を作らなければいけないということで3回会議を行った。教育大綱は3ヶ年の計画で、教育進行基本計画の年度に置き換えると29年度で終了となる。今年度作ればよかったが、国の方針がまだ出ていないということで、30年度早い段階で国の教育進行基本計画も出来ると思うので、それを踏まえて教育委員会でも作ったとして、今まで同様に教育大綱に置き換えるとか、併せて議論をしながら10月に教育進行基本計画が出来れば、早めに会議を開催していきたいと思う。11月・1月を7回・8回としているが、必要に応じて開催したいと思う。これを踏まえ、3月には議会へ報告したいと考えている。

○議長：村長 越善靖夫

それでは、事務局より説明があった件について、ご意見やご質問がございましたらお願いします。

○北川教育委員

方向性として、教育振興基本計画をまた大綱に出す方向なのか。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

ベースはこの通りだが、村長と教育委員の判断で状況に応じることになる。

○議長：村長 越善靖夫

ほかにご意見やご質問がございましたらお願いします。

○鈴木教育長職務代理者

教育大綱を10月に予定しているが、今回のような予算に反映するような会議を11月くらいに大綱とは別に計画していただければ有り難い。

○説明者：経営企画課 課長 菊池敢世

総合教育会議の中でそういう場面を作るよう検討する。

○議長：村長 越善靖夫

問題は大綱がいつ上がるかで、それにより会議を開くことは可能。予定としては11月を目処にしているが、その前に大綱ができれば対応するが、急がせるわけには行かないので、そこは皆さんで議論してください。

○橋本教育委員

日程について、早めの連絡調整をしていただきたい。そしたら皆、出席できると思う。

○議長：村長 越善靖夫

時間的なことを考え、全員出席できる体制を整えたいと思う。

○議長：村長 越善靖夫

それでは、「議事(3)その他」についてだが、何かあったらご発言をお願いします。

○議長：村長 越善靖夫

細かい点も色々有ると思うが、私も教育長と連携をとり取組んで参る。

教育委員会内での会議で出る様々な意見をいただければと思う。教育プランを策定し取り組んでいるが、東通村の子ども達が健やかに世界へ羽ばたけるような活動が出来るように、行政として支えていく。常に子供たちのことを考え支えていければと思う。

時間も大分たったが、ご意見も色々いただきました。予算に反映できるものは話をしながら進めて参る所存。これにて議事を終了するがよろしいか。

○委員各位：（異議なし）

(4) 閉 会 司会：経営企画課 地域戦略G 総括主査 西谷 聖子

皆様、大変有り難うございました。

それでは、これを持ちまして第5回東通村総合教育会議を終了致します。

本日は、大変有り難うございました。

(5) 閉 会

<議事録の署名>

平成30年 4 月 3 日

議事録署名者 教育長 奥島 涼子

議事録署名者 教育員 橋本 健一